

指定管理者制度活用事業 評価シート

1. 基本事項

施設名称	菅生こども文化センター	評価対象年度	平成22年度
事業者名	・事業者名 菅生こども文化センター運営協議会 ・代表者名 代表 丸山 幸一 ・住所 川崎市宮前区菅生ヶ丘13-2	評価者	青少年育成課長
指定期間	平成18年4月1日～平成23年3月31日	所管課	市民・こども局こども本部子育て施策部青少年育成課

2. 事業実績

利用実績	1 菅生こども文化センター ①年間延べ利用者数 0人 ②年間延べ利用団体数 0団体 2 稗原小学校わくわくプラザ ①登録者数 289人 ②年間延べ利用者数 13,718人
収支実績	単位:円 1 収入 指定管理料 26,038,000 2 支出 人件費 21,660,911 管理費 2,342,166 事務経費 2,243,669 その他経費 0 合計 26,246,746 3 差引 -208,746
サービス向上の取組	副館長制の導入、建替えに係る利用者意見集約等を実施した。

3. 評価

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
利用者満足度	事業推進	順調に事業の推進が図られているか	10	4	8
	事業成果	こども文化センターの継続した取組が図られているか	5	3	3
わくわくプラザにおいて、適切に児童を受け入れているか					
(評価の理由)施設が改築により利用できないことから、小学校の協力により、家庭科室において「おやつ作りクラブ」、体育館において「卓球クラブ」を実施していた。クラブ活動の「ONEパーク」については、集合・解散場所を小学校に置きながら、遠足を主な活動として実施するなど事業の継続に努めていた。また、近隣施設に利用団体の受入れを働きかけ、利用団体の継続的な活動を支援した。小学校をこども文化センター事業の活動の場としたことから、わくわくプラザへの登録児童数及び利用者数が増加した。					
収支計画・実績	適切な金銭管理・会計手続	適切な会計処理がされているか	5	3	3
	効率的・効果的な支出	計画に基づき適切な支出がなされているか(収支バランスが取れているか)	5	3	3
		支出に見合う効果が得られているか			
効率的な執行等、経費削減の具体的な取組がなされているか					
(評価の理由)金銭管理・会計手続についても適切に行われ、概ね提案どおりの経費執行であった。					
サービス向上及び業務改善	施設・事業の広報	施設や事業が積極的に広報されているか	5	3	3
		広報の方法に工夫が見られるか			
	利用者への対応	利用者に対する接遇が適切にされているか	5	3	3
	運営協議会の実施	こども文化センター運営協議会が実施されているか	5	3	3
	保護者懇談会の実施	わくわくプラザ保護者懇談会が実施されているか	5	3	3
	学校及び行政機関との連携	事業実施に当たり学校、行政及び地域等と連携が図られているか	10	4	8
利用者ニーズ	利用者ニーズの把握がされているか	5	3	3	
	把握したニーズが事業運営へ反映されているか				
(評価の理由) 建替え期間中も引続き運営協議会やクラブの代表、利用団体を構成員とする企画会議を実施し、意見交換を行うとともに、広報紙「ひまわり」による広報及びニーズの把握に努めていた。小学校の協力を得て、多くの事業を小学校内で実施することができた。また、近隣施設に利用団体の受入れを働きかけ、利用団体の継続的な活動を支援した。					

組織管理体制	適正な人員配置	こども文化センターにおいて、利用人員等を考慮し、事業実施に必要な人員が配置されているか	10	4	8
		わくわくプラザにおいて、利用人員等を考慮し、事業実施に必要な人員が配置されているか			
		事業の目的を考慮した適正な職員(児童福祉施設最低基準)が採用されているか			
	職員の研修体制	予定していた研修が実施されているか	5	4	4
職員のスキルアップを図るために必要な研修等が実施されているか					
個人情報等の取扱	個人情報保護の法令遵守のルール(規則・マニュアル等)と管理・監督体制が整備され、適切な運用がなされているか	5	3	3	
(評価の理由) わくわくプラザにおいて、チーフサポーターに替えて常勤職員を配置する等、仕様書を上回る人員配置を行っていた。また、館長を含む全職員がわくわくプラザにおいて業務を行う中で、サポーターへ子どもたちへの接し方や遊びの指導法などのスキルアップを図り、計画以上の充実した研修を実施した。					
適正な業務実施	施設・設備の保守管理	安全な利用に支障をきたすことのないよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に実施しているか	5	3	3
		利用者の安全確保のための体制(マニュアル整備等)がとられているか	5	4	4
	利用者	事故等が発生した場合に適切な対応が行われているか			
	防犯対策	緊急時のマニュアル等が整備されているか	5	3	3
		・施設の防犯のための工夫がされているか			
	災害時の対応	災害発生時のマニュアル等が整備されているか	5	3	3
避難訓練や消防訓練が適正に実施されているか					
(評価の理由) 3月11日の東日本大震災発生の際も利用者の安全第一の対応を行い、負傷者等を出さなかった。					

#### 4. 総合評価

評価点合計	68	評価ランク	C
-------	----	-------	---

#### 5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

今年度はこども文化センターの建替えのため、小学校から更なる場の提供の協力を得たクラブ活動の実施や野外活動に内容を変更するなど、こども文化センター事業の継続的な実施について、工夫を凝らした運営に努めていたことは評価できる。結果としてクラブ活動の拠点が小学校に移ることにより、わくわくプラザの登録児童数及び利用者数が増加した。また、近隣施設や仮事務所を活用して利用団体が継続して活動できるよう努めていた。

今年度は特に3月11日の東日本大震災発生の際も利用者の安全第一の対応を行い、負傷者等を出さなかった。

#### 6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

こども文化センターの利用者が利用しやすい環境の整備に努め、児童が安全で安心して過ごせるわくわくプラザの運営に努めること。